

# ノヤマ通信

vol.11 (2023.卯月)



## 森のようちえんヒュッテ

【3月の活動場所：2日山の基地（ひなまめづくり）、6日宇和運動公園、9日歴博、16日山の基地（視察あり）、20日愛宕山公園、23日山の基地（よもぎ団子づくり）】

●3月はひなまめやよもぎ団子など、手作りのおやつを楽しみました😊。



## ●活動を見つめるコラム 「こどもまんなか」

先日、市内で開かれたドキュメンタリー映画「夢みる小学校」の上映会のときに、ゲストとしてオンライン出演した教育評論家の尾木ママが、「今年の4月1日って何の日か知ってますか？」という問いかけをされました。正解は「こども基本法の施行&こども家庭庁スタート」。

こども基本法は、すべてのこどもが幸せな生活を送ることができる社会を目指して、その基本的な考え方を定め、社会全体でこどもに関する取組「こども施策」を進めるために作られました。こども家庭庁はそのために必要な取組みを進めていく組織です。こども施策については、当事者であるこどもや若者の意見を反映させることを基本方針に据えている、という点で日本の行政の大きな転換点だと言われています。

尾木ママの「こどもファースト（最初に子どものことを考える）ではなく、こどもまんなか（常に子どものことを考える）ですよ」という言葉もなるほどなあ、と思いました。私たちの活動も「こどもまんなか」でできているか、意識していきたいと思えます。（ゆ）



▲3/16 森のようちえん@山の基地

## 👤👤 山の基地

【3月に行った活動：10日日常管理、26日イベントDAY、28日日常管理】

●イベントDAYは春の野草を採って食べてみました。ぐづついた天気の中、ヨモギ、セリ、ツクシ、オオバコ、タンポポ、ミツバなどを集めて、天ぷらにして食べました。



●ツリーデッキにわたる橋が濡れているとつるつるすべって危なかったので、滑り止めをつけてみました。他にも「ここはヒヤリとした」といった場所があれば、その都度、直していこうと思うので、お気づきの方はお知らせください。



●沢沿いの倒木などを少しずつ片づけ始めました。夏には、川沿いでのおんびり過ごせる空間ができるといいな、と思っています。



## ✿✿ その他の活動

### ●3/4ジオパークの講座で講義

西予市三瓶町で開催された住民向けの講座で、ジオパークについての講義を行いました。講座内では、船に乗って大昔の地層を見に行くツアーもあり、地元の高校生たちががんばってガイドをしていました。



### ●3/12出張イベント@高知県四万十町

親子で体験活動をしている友人のグループに呼ばれ、野草の観察&調理イベントを行いました。野草を採集した後、食べてみて、おいしかったものをまた取りに行き食べてという、和やかなイベントになりました。



### ●3/19明浜町高山地区景観調査委員会に出席

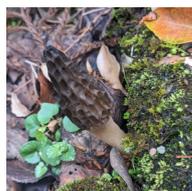
高山地区の地域資源を活用した活動プランについて、意見交換を行いました。地元の人がガイド役になって磯遊びをするプログラムなどができるといいなあ、と思っています。



### ●3/25生誕の森林づくり植樹祭に参加

昨年に引き続き、宇和運動公園で開催された市の植樹祭で、野遊びの紹介を行いました。

スマレや虫、キノコなど、春の生きものをさがしてもらいました。



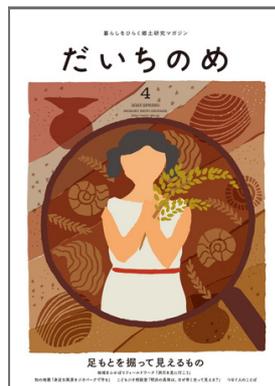
### ●『だいちのめ』第4号の発行

四国西予ジオパークのフリーマガジン『だいちのめ』の第4号を発行しました。

今回は、地面を掘る仕事をしている人たちのインタビュー記事や、西予市内で見学できる洞穴の紹介などを行っています。ぜひご覧ください。



インスタのフォローも  
お願いします。



## 👉 よもやま話

●3/11に四万十町で開かれた、藤原辰史さん（京大大学人文科学研究所）の講演会に行ってきました。テーマは「食や農からみえるつながりのかたち」で、藤原さんが「給食の歴史」という本を書かれているからか栄養教諭の参加も多く、積極的に悩みや課題を質問されていたのが印象的でした。「食」って改めて振り返ると、空腹を満たすだけでなく、政治や戦争から日々のコミュニケーション（誰とどう食べるか）まで、私たちが暮らす社会と直結しています。だから何を選んでどう食べるかという1人1人の選択には力があるんだなあと感じるお話でした。森のようちえんでも、できるだけ地域のものを使って、みんなで調理して一緒に食べる活動を大切にしていますが、新年度もそうした機会をしっかりと設けていきたいと思っています。（ち）



●我が家では、こたつとちゃぶ台の2つを合わせて食卓として使っていたのですが、前々からずっと手狭に感じていました。なので、春休みにちょっと大きめのテーブル（天板サイズが80×136cm）をDIY。これがすごく快適です。料理を並べても余裕があるし、子どもたちと塗り絵や折り紙を一緒にするときも広々使える！トランプの神経衰弱も卓上でできる！遊ぶスペースをめぐっての子ども同士のもめごともし少し減った気がします。やっぱり環境を整えることは大事ですね。（ゆ）



<発行>

一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

✉ noyama.company@gmail.com